

OPINION

中部経済新聞

私は、カナダのオタワ地域のTECC(経営者仲間の協会)2グループで座長を務め、多くの産業の企業トップと時間を毎月共にしています。経営者たちは市場をしつかり把握する思慮深いリーダーで、議論をするとき共通課題がはっきり読みとれます。

↑  
ナビゲーター

第一は不確実性です。聞き慣れたビジネス用語ですが、今日ではきわめて現実的に影響を及ぼしています。多くのリーダーが、顧客が以前より慎重になったとみなします。意思決定にはこれまで以上に時間がかかり、営業サイクルも長くなっています。興味や

日本への期待  
世界各地から

其 172

「巨象」アメリカの隣国として

関心は高くても、最終的な決断の直前で立ち止まることなくありません。

この躊躇(ちゆうちよ)は、組織全体に影響します。売上予測、生産計画、人員配置、投資判断を複雑にします。簡単にいえば、顧客の動きが遅くなれば、他のすべてもより慎重に動かざるを得なくなり

ます。第二の懸念は価格です。コスト予測が困難になっています。関税リスク、為替の影響、サプライチェーン(供給網)の変化、さらなる政策変更の

オタワのビジネス社会から(上)

可能性、こうした要素がすべて複雑さを増しています。多くの経営者は、ルールが明確なら厳しい状況にも対応でき

ます。より困難なのは、足下の前提がいつ、なんの警告もなく変化するかもしれない状況で経営することです。

私の見るところでは、これはカナダ全体に共通する現実です。カナダは常に、アメリカ合衆国と非常に近い経済環境の中で生きてきました。昔から「アメリカの隣で暮らすのは、象の隣で眠るようなものだ」といわれてきました。

どれほど友好的な象でも、ひたすら、関税、政治的方向性の変化は、カナダのビジネス全体に広く波及します。

わが国の課題は、ただ米国の経済が強いかわいかなく、米国の政策変更がカナダに直ちに影響を及ぼすことです。それがより本質的です。西国経済は貿易、サプライチェーン、資金移動を企業で深く結びついています。だからこそ米国の通商政

策、関税、政治的方向性の変化は、カナダのビジネス全体に広く波及します。多くのリーダーたちは一つの劇的な出来事より、不安定さが少しずつ積み重なっていくことを懸念しています。ルールが変わり、顧客がためらい、将来コストの見積もりが困難になるような状況で舵取りすることが懸念材料です。だからこそ多くのカナダ企業は、より慎重で同時により戦略的にもなっています。サプライチェーンや単一市場への依存を再点検し、資金繰り

ある意味で、このような圧力は健全です。平穏な時期には見過ごされがちな弱点を顕在化するからです。優先順位を研ぎ澄ますことを強いるからです。状況が厳しくなるほど、優れた経営管理がいっそう重要になることを想起させます。このことは、コンサルティングという私自身の職業にも当ると個人的に感じます。

【ドワイト・ミハリッチ、

のきびしい管理や強靱(きょうじん)性についてはずっと真剣に考えています。特定地域への集中、貿易の破綻や急激な価格変動に左右されないように価値の提案を構築しようとしています。

【ドワイト・ミハリッチ、